



全石油  
ゼネラル石油労働組合  
〒299-0108  
千葉県市原市千種海岸1番地  
Tel 0436-23-9555

Home Page URL  
<http://oilunion.org/>

# 収益向上義務付け 製油所再編促す

経済産業省は、石油元売り全社に対し、ナフサなど収益性が高い製品を造る事を義務付ける。設備投資や企業連携の取り組みには補助金を出す。

を各社に義務付ける。処理量の多い会社は2〜3%、処理量の少ない会社は5%の改善を求め、生産性向上を促すことと製油所の再編につなげる考えだ。

国内の再編が思うように進まず、集約の進んだ韓国では1か所あたりの精製能力は日本の3倍に達し、輸出货量も大きく水をあけられている。

経済成長が続くアジアでは需要が安定しており、収益力を高めて輸出にかじを切る必要がありそうだ。

## 10月上旬に、「エネルギー供給高度化法」の告示を改正する。告示では21年度末までの5年間で、ガソリンやナフサを造る処理量を増やすこと

## 高価品へシフト

電気自動車（EV）の急速な普及など国内のエネルギー需要の大きな転換が見込まれるなか、収益性を高めてガソリンなど石油製品の輸出を後押しする。



フォーラムに参加した武澤委員長・小山副委員長・金森事務局長（上写真）

### 4労組合同で開催

### 中央産油所・労働フォーラム

7月26日大手町JXビルでTGとJXの会社統合後、初の中央生産会議／労使フォーラムをOU、TCU、JXE U、TGGU合同で持った。

旧TGのときは勝手が違い事前に質問を出し、それに対し回答を頂いていた。そのため追加討議を十分にできなかったが懇親会ではマネージメントの方々と理解と親睦を十分に持つことができた。

## 30日に千葉で大会

9月30日、先延ばしとなっていた本部大会を千葉で開催する。

JXTGでの整合化案D A

## プロジェクト完了 増える機器 人員の見直し必要

BCU装置（ブテン転換装置）のオクトールUNIT（オクテン製造部門）から出る副産物となるC12+が11日より単体として落油が開始された。今まではブレンド基材として単体では製品にはなっていなかったが、このプロジェクトで高付加価値な化学品としての需要が見込まれ単体として出荷できることになった。

現場にはラインの追加、変更および熱交換器（クーラー）が一基追加された。本プロジェクトによる年間メリットは1億円だという。取引先との契約期間が限定されているため、設備投資も最小限に抑えられており堺製油所としての競争力を高めていることには間違いのないのは確か。ただし、機器が増えた分人員配置の見直しもやってもらいたいものだ。

## 排水処理チーム立上げ 設備改善投資に期待

千葉製油所では、TA（定期整備工事）で発生した排水処理について処理改善を強化するため、排水処理チームが立ち上げられ、排水処理チームリーダー会議が活発に行われている。

今後は、次回のTAへ向けての案件に加え、過去の事例

に質問した。

内容はLP Gエリア、フレアースタックパイロット配管の溶接線割れによりC3ベーパーが漏洩。緊急運転停止を回避するため、一時的にパイロットラインをホースでパイパスし運転継続したが、高圧ガス運転設備の変更許可の申請は必要なかったのかという疑問だ。

Y12を控え組合としても慎重に会社の動向を伺っていく必要がある。製油所統廃合も待ちかまえている中で大会となるため、活発な議論をおこない、全員で力を合わせて乗り切っていきたい。

ラインを使用するためにMOC（変更の管理）を検討しています。」との回答だ。しかし調べた結果は高圧ガス運転設備の変更許可手続きが必要という事であった。

勝手な解釈で社内ルールだけを順守し、変更許可申請を

出さず無許可で運転設備の変更しプラント運転を継続。コンプライアンス違反で官庁へ事後報告することになった。組合として官民からの信用をなくさないためにこれから安全ルールについて厳しく会社の動きを注視していく。

TA以外では、雨水排水が心配である。

今の時期には、台風やゲリラ豪雨など、予想できない大雨になることがある。一時的な大雨や台風の影響による大雨でも一部の側溝がふれることのない設備、製油所を期待したい。

などから設備改善案が活発に提出され、改善投資案件にも期待がかかる。

## 辺野古新基地建設反対で集会・大阪 「沖縄に足を運んでほしい」



8月27日、『STOP辺野古新基地建設！大阪アクション3周年』の集会が大阪北区のPLP会館であった。

保守の議員を支えてきた一人で、何も知らないまま無関心だった自分が恥ずかし、という名護市会議員の翁長久美子さんが講演。「オスプレイの爆音は、地震が起こったのでは、と思うほど心臓に悪い。基地前で座り込みをしている人は、変な人ではなく真っ当な人たちです。知人に声をかけて沖縄に足を運んでほしい、また、稲嶺進・名護市長が、出馬表明したが、辺野古新基地撤去のために絶対に負けるわけにはいかない」と訴えた。関西大学教授の高作正博さんは、「来年1月に名護市長選挙、11月には沖縄知事選挙などが控えている。選挙に勝利して米軍基地県内移設反対の民意を示そう」と呼びかけた。

来年1月の名護市長選挙は、基地反対で立候補した稲嶺市長は負けない。と翁長さん（左写真）